

矢部清流学園

学校だより 16号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な体を持ち、共に伸びる児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自分の思いや考えを仲間とつなぎ、広げていく子どもの育成～ つなごう・広げよう～

令和5年2月22日 文責 古川 志乃



は～るよ来い！ は～やく来い！

梅や桃の花のつぼみがふくらみ始めて、春の訪れが待ち遠しいこの頃です。観梅会（立花町）や八女のぼんぼりまつりも開催されていますね。9年生の教室には、卒業までのカウントダウンが示され、また、入試をみんなで乗り切ろう！と互いに励まし合って頑張っています。3月3日には、「9年生に贈る会」を予定し、各クラス、お世話になった9年生に楽しんでもらおうとそれぞれに企画してくれています。さあ、どんな出し物があるのか…ご期待！

広げよう

2月4日(土) 矢部公民館まつりにて

つなごう 公卿唄(前期課程児童)、創作ダンス(7・8年生徒)披露

2月4日(土)矢部公民館しゃくなげホールにて、矢部公民館まつりが開催されました。木挽き唄や民謡、舞踊が披露される中、本校の子ども達は公卿唄(前期課程児童)や体育の授業で練習してきた創作ダンス(7・8年生)を披露しました。一生懸命に取り組む姿は、矢部の多くのおじいちゃん、おばあちゃんたちにたくさんの元気、パワーを与えたにちがいありません。発表を終え、おいしいだご汁とかしわのおにぎりをごちそうになった子ども達ですが、チャリティーンズ(中高生ボランティア)の生徒が接待をしたり、準備・受付・片付けをしたりと大活躍でした。本当に貴重な体験をありがとうございました。

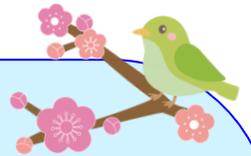
公卿唄は八女市の指定無形文化財です。650年ほど前の南北朝時代、後村上天皇の息子である良成(りょうせい)親王が矢部に來られたときのお供だった公卿が伝えた祝い唄。山口久幸先生ご夫妻のご指導により、練習を重ね、3年ぶりに開催された公民館まつりで、ふるさとの文化と歴史を学ぶ一貫としての取組「公卿唄」を披露できたことをうれしく思います。郷土遺産の民謡を後世へ伝承していくことの大切さを感じるとともに、楽譜もないのに、耳にした音を歌い継いでいる子どもたちを誇りに思います。

公卿唄

- 一 こちの座敷はヤーヤーエ 祝いの座敷 鶴と亀との舞い遊ぶ
- 二 鶴と亀とはヤーヤーエ 何して遊ぶ 末は繁昌と舞い遊ぶ
- 三 若松様よヤー 枝もヤーエ 枝もナー 栄ゆる 葉も上げる



2月14日(火) 1・2年生 植林体験 3・4年生 枝打ち体験



地域学校協働活動の一貫、善遊科の児童による植林体験、枝打ち体験を行いました。愛林クラブの方々のご指導・ご協力のもと、愛する矢部の環境保全活動を行いました。「みんなが植えるこの苗木は、まだ1歳です。隣の大きな木は70歳。みんなが植えた木が、こんなふうによつように、しっかり植えていきましょう!」と話があり、1・2年生の子ども達は足場の悪い中、しっかりふんばって鍬を握りしめて、もくもくと作業をしていきました。3・4年生は、鋸を両手でしっかり持って、杉の木の枝を切り落とす作業を行いました。



SDGs 「陸の豊かさを守ろう」

につながる活動でもありますね！

「2030年までに、持続可能な開発のために欠かさない山地の生態系の能力を強める。多様な生物が生きられる山地の生態系を確実に守る。」という目標達成のための活動を、地域の方々と共に体験できたことは大変意義深いことです。みんなが、おじいちゃん、おばあちゃんになって…美しい山々を眺めながら、今日のことを思い出してほしいと思います。

公民館まつりでの公卿唄の音声は本校HPにアップします。是非お聞き下さい！



第10回矢部公民館まつり